

特化した学習で相乗効果を生む

# 日曜単科講座



7月 実施講座

申込制 会員割引

## 基本学習用

1

### 単元別再導入講座

STEP5 後半と 6 前半

STEP5 と 6 で学習した内容の総復習を行います。年長クラスで学習するのは、5-6 でもっとも学習重量感のある内容の「観覧車」と「方眼上の位置の移動」、6-3 で学習する「交換」を盛り込んでいます。夏季講習前に必ず復習しておきたい受験頻出内容です。年中クラスでは 6-1 で学習する「単位の考え方」。これまでの直感的な量と数概念を利用した量の橋渡しとなるととても大切な単元です。6-2 で学習する方眼上の位置の移動は近年の受験でも頻出の課題です。場所と動きに数概念を与える最も初めの単元です。年少クラスでは 6-1 で学習する「大きさの順対応」。量の系列化、順序数、集合数の概念獲得にとっても大切な単元です。そして 6-3「数の増減」は、同じく順序数と集合数の概念獲得に欠かせない単元で、きたる年中カリキュラムにむけて最も大切です。

会員のみ

少人数

日時

年少・年長 7月8日(日) 9:00~10:30 (8:50 集合)

年中 7月8日(日) 11:00~12:30 (10:50 集合)

内容

年長

再導入単元 5-6「観覧車」「方眼上の位置の移動」6-3「交換」

① 集団活動 ② 個別活動 ③ ペーパー

1. 観覧車 2. 観覧車 3. 方眼上の位置の移動

4. 方眼上の位置の移動 5. 交換基本 6. 交換応用

年中

再導入単元 6-1「単位の考え方」6-2「方眼上の位置の移動」

① 集団活動 ② 個別活動 ③ ペーパー

1. 単位の考え方高さ 2. 単位の考え方長さ

3. 単位の考え方広さ 4. 方眼上の位置移動①

5. 方眼上の位置の移動② 6. 方眼上の位置の移動③

年少

再導入単元 6-1「大きさの順対応」6-3「数の増減」

① 集団活動 ② 個別活動 ③ ペーパー

1. 大きさの順対応整列 2. 大きさの順対応片方非整列

3. 大きさの順対応非整列 4. 数の増減基本 5. 数の増減基本

6. 数の増減

- 定員対象 ▶ 各学年男女計6名（年長・年中・年少の男女） ※最少催行人員 1名
- 持ち物 ▶ 筆記用具、上履き、水筒
- 受講料 ▶ 会員 10,000円税別（教材費別 1,000円税別）

## 2

### ステップ別総復習講座 STEP5

STEP5からは受験対策の最終ステップとなります。非受験においても次の学年の学習へのまとめとなりますので、習熟度を上げて準備したいところです。**年長クラス**では、線対称と重ね図形が受験では頻出です。女子校・共学校関わらず重要ですので必須学習項目です。10の構成における魔法の箱の逆思考もこの講座で初学習します。通常授業では行っていませんので、時間に余裕がある場合は履修してください。**年中クラス**では立体構成が重要項目です。空間把握力の基本となりますので、特に一つ動かして次の形にする課題はしっかりと行えるようにしましょう。**年少クラス**でも図形構成が重要項目です。三角パズルを使って様々な具体的なものを表現することで、基本図形の性質を身につけましょう。

会員のみ

少人数

テスト形式

日時

年少・年中・年長 7月1日(日) 9:00～10:30 (8:50集合)

内容

STEP5の総復習 ① 集団活動 ② 個別活動（それぞれの苦手な単元について）  
③ ペーパー（各学年の内容は以下の通り）

#### 年長

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 未測量/逆対応        | 4. 図形/線対称・重ね図形 |
| 2. 位置表象/方眼上の位置の移動 | 5. 言語/話の絵画化    |
| 3. 数/魔法の箱逆思考      | 6. 生活/観覧車      |

#### 年中

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 未測量/順対応    | 4. 図形/立体構成   |
| 2. 位置表象/位置の記憶 | 5. 言語/話の内容理解 |
| 3. 数/5の構成     | 6. 生活/季節の理解  |

#### 年少

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 未測量/重さくらべ      | 4. 図形/図形構成        |
| 2. 位置表象/方眼上の位置の対応 | 5. 言語/話の内容理解      |
| 3. 数/分配           | 6. 生活/仲間あつめ・仲間はずれ |

定員対象

各学年男女計6名（年長・年中・年少の男女） ※最少催行人員 2名

## 持ち物

筆記用具、上履き、水筒

## 受講料

会員 10,000 円税別 (教材費別 1,000 円税別)

# 3

知能育成型授業キッズ編

## 能動性育成講座 Asoby

子どもは、「とにかく遊びたい!」「とにかく楽しみたい!」これが基本で、これに勝るものはありません。

そこで、いくら親が「将来必要だから・・・」という考えのもと子

どもたちに知識や手法を植え付けたとしても、当の本人たちにその獲得の必然性がないのでは、せっかく得た知識もすぐ忘れてしまうか、あるいは断片的なものとしてずっと役に立たないまま、ただ知っているだけのものとなってしまいます。

この講座はそんな子どもたちに楽しめる場所を提供するものです。そこで子どもたちに能動的活動の形を体で感じてもらいます。



### 受験における行動観察・面接

受験だけではない

子どものコミュニケーション能力

プレゼンテーション能力

小学校受験は単なるペーパー主義の試験ではありません。学校側もペーパーの点数だけを見ても子どもの部分的評価しかできないことを知っているからです。子どもの全てを見るために存在する試験方法が、行動観察や面接です。子どもたちの人間力、この場合は表現力やコミュニケーション能力、問題解決力と言った方がわかりやすいかもしれません。このような非認知能力の代表的な力を養うには、知識を教え込む手法では全般的外れです。子どもが社会活動で直面する問題設定に対し、真摯に取り組みどう解決しようとして、どういう課題が残ったのか。机上の空論ではなく、実際の現場でリテラシーを伴った知識として身につける必要があります。



### 学問・音楽・運動の3分野

この講座では自己表現の種類を「学問・音楽・運動」の3分野に分けその講座ごとに一つのテーマを設け演出をしていきます。人前でもじもじしてしまうのは、自己表現においてまだまだ未経験なことが多いからです。どんな表現方法でも能動的に楽しく行うことで、本当の意味でのコミュニケーション能力を身につけましょう。



### 授業と家庭課題での相乗効果

講座での実際の授業は、子どもたちにやる気・楽しみなどいけば能動性の大きな枠の形を与えます。ここで得た技術、出会った知識などを家庭課題において習慣、研鑽を繰り返し、自己表現の形を作り上げていきます。授業が終わった後は、ご家庭で実践活用できるような宿題を用意しています。



日時

第4回（年中クラス）7月8日（日） 9：00～10：30（8：50集合）

内容

第4回（年中クラス生対象）

# TOKYO GIRLS&BOYS

# COLLECTION



## 第4回「TOKYO ガールズ&ボーイズコレクション」

今日は待ちに待ったファッションショー。でも単にきれいでかっこいい服を着ればよいだけではなかった。ショーを成功させるためにはポージングやウォーキングのような自分の身の回りのこと、そしてどのタイミングで出るのかというような周囲のこと、一見華やかに見えるものの裏にたくさんの苦労があることがわかる。それでもみんなで楽しく力を合わせてがんばりきることで素晴らしいファッションショーを完成させたい。

### ●受験との対応性

1. 学習：分類の聞き取り力
2. 行動観察：
  - ・服のたたみ方などの基本所作
  - ・模倣運動力
  - ・自分への指示だと強く理解して聞き取る力。
  - ・集団で力を合わせて一つの目的を達成する能力
  - ・個別で集中して目的を達成する能力
3. 試行錯誤力：表情や動きなどの素直な子どもらしさの表現

## 【内容概略】

### ストーリーA

今日はファッションショーの日。コーディネーターチームと一緒に盛り上がるファッションショーを作り上げよう。

- <集団・個人活動>
1. 4人ずつ3組（又は4組）に分かれて着替えやレッスンを行う。  
毎回の指示は色別や数字別でされるのでしっかりと聞きとらなければならない。

2. 模倣運動（ウォーキングやポージング）を行う。

ストーリーB

いよいよ本番。今日を楽しみにしてくれているお客さんのためにも、そして練習の成果を出すために自分のすべきことをしっかりおさらいして臨む。

<個別活動>

1. 本番も笑顔で堂々となりきる。自分を明るく楽しく表現する。
2. 親の前での発表を甘えずやりきる。

エンディング

進行役から帰ってからの指令が出される

指令1：当日発表

※宿題をメールで提出する

定員  
対象

すでに残りわずか

12名 ※最少催行人員 6名

※表記の定員数は「各回申込み」の申し込み可能人数ですが、第2回以降は「まとめ申込み」が優先されるため、実際の申し込み可能人数とは異なる場合がございます。

持ち物

筆記用具、上履き、水筒

受講料

第4回（各回払い）：15,000円税別（教材費別 3,000円税別）

受験対策用

4

新講座

第4回 男子行動観察

男子のみに限定した行動観察講座です。理性的な活動を求められてしまう小学校受験において、男子の集団活動練習はとても大切です。工作を利用した行動観察など、特に男子の受験の頻出課題を盛り込んだ2課題について練習します。

日時

7月8日（日） 11：00～12：30（10：50集合）

内容

行動規範には欠かせない論理的思考を育成するための男子行動観察課題

授業内容		全4回			
		第1回	第2回	第3回	第4回
運動系課題	タイトル	川渡りゲーム	変則ドンじゃんけんゲーム	宝取りゲーム	こどもバスケット
	概要	チームワークで論理的に島へ渡るゲーム	チームが負けないように体力が切れるまでがんばるドンじゃんけん	マスの上を将棋のような動き方で宝を取りに行くゲーム	チームワークで網にボールを入れることを競うゲーム
制作系課題	タイトル	ドット画を完成させよう	アリのマンションづくり	新しい海の生き物を考えよう	ビー玉手品ボックス
	概要	アナログ画の見本を見ながら、ドット画を完成させて発表する	地下のマンションを絵とパズルを使って完成させる	自由に新しい生き物を考え絵画化する	論理的に迷路を工作することでビー玉が出てくる場所を考える

## 課題 1

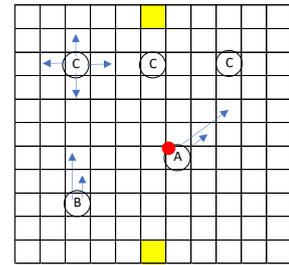
### 運動系課題

#### 【授業内容】

〔こどもバスケット〕

3人1グループを作り、相手側の網にボールをできるだけ多く入れるゲーム。  
その後、バスケットボードで将棋のようなゲームを行う。

AとBの動きを理解しCにつかまらないようにボールをゴールに運ぶ。  
相手側はゴールされないようにボールを持っているコマをつかまえる。



#### 【目的】

- ・集団の中で、チームワークを生かしながら論理的に事を運ぶ力を育成する。
- ・ルール変更などの環境の変化に対応する力を育成する。
- ・論理性を内面化させるプロセスを経験する

## 課題 2

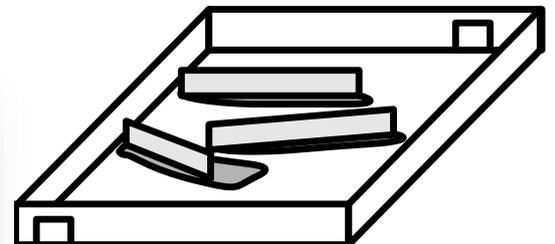
### 制作系課題

#### 【授業内容】

〔ビー玉手品ボックスを作る〕

個人活動により論理的迷路を作成する

ベニヤ木っ端と粘土を使って、ブラックボックスの中を論理的に作成し、入り口と出口がクロスするように作り上げる。



#### 【目的】

- ・試行錯誤をすることにより、工作における演繹的・帰納的な経験をする。
- ・制作の基本巧緻性をリテラシーを伴わせて身につける。

定員  
対象

年長クラス男子生 12名 ※最少催行人員 3名

持ち物

筆記用具、上履き、水筒

受講料

10,000円<sub>税別</sub> (教材費別 2,000円<sub>税別</sub>)



7月版

## 日曜単科講座お申込書

受付日： 月 日 担当（ ）

TEL: 03-6261-6472 FAX:03-6261-6475

お申込日 平成 年 月 日

お申込み講座	<input type="checkbox"/> 単元別再導入講座STEP5後半とSTEP6前半
	<input type="checkbox"/> ステップ別総復習講座STEP5 <input type="checkbox"/> 能動力育成講座Asoby
	<input type="checkbox"/> 第4回男子行動観察

※複数の場合は全てにチェックしてください。

学 年  年長クラス     年中クラス     年少クラス

※会員は現在お通いのクラスをチェックしてください。一般生は生年月日よりクラスを決定いたしますのでチェックは不要です。

会員区分     市ヶ谷     晴海     早稲田     一般生

生徒氏名	フリガナ	性 別
		男・女

生徒生年月日 平成 年 月 日 満 才

通園の幼稚園または保育園名

保護者氏名	フリガナ	生徒との関係
		(    )

住 所	〒	-	都・府 県	市・区

連絡先	固定電話	(    ) -    -
	FAX (同上・無し)	(    ) -    -
	携帯電話	(    ) -    -
	メールアドレス	@

備 考 特記事項	別紙の「お申し込み・キャンセルポリシー」を了承しました。 署名： _____
-------------	---